

絵画のミカタ

5人のアーティストとみる群馬県立近代美術館のコレクション

この展覧会では、現代作家5人の作品と、彼らが当館の収蔵作品から選び出した作品を併せて展示し、いつもとは少し違った視点から当館収蔵の絵画作品を紹介します。

5人は同じ絵画という表現分野において制作活動が続ける作家ですが、彼らが絵画に向き合う理由は様々です。

5人のアーティストには、自らの言葉で、それぞれの作品を選んだ理由や着眼点を語ってもらいます。日々絵画と向き合うアーティストの見方、感じ方を知ること、さらに多様性に満ちた奥深い絵画の魅力がひらけてくるでしょう。

1 世界をうつす 一目に見えるものと絵画との間



牛嶋直子 (1979)
《森でみる夢》
2019年 作家蔵

2 絵画の表面 絵具の質感 筆触の効果



門田光雅 (1980)
《富嶽》
2020年 作家蔵

3 自律する色と形 絵画をキャンバスと絵具から解放する



鬼頭健吾 (1977)
《Cartwheel Galaxy》
2019年 個人蔵
[撮影：木暮伸也
写真提供：
rin art association]

4 絵画とそのモチーフ 「絵になる」ものたち 室内と人物



原游 (1976)
「アプロカダブラ絵画展」
展示風景
(市原湖畔美術館)
2017年

5 「描く」という行為 絵画が生まれる瞬間



佐藤万絵子 (1975)
《この夜をひらいて
(この夜をおし上げて
いく光に名前は
つげずに)》
2012年
[撮影：木暮伸也
写真提供：
群馬県立館林美術館]

【展示内容】

- ・現代作家5人(牛嶋直子、門田光雅、鬼頭健吾、原游、佐藤万絵子)の作品約40点
- ・群馬県立近代美術館の収蔵作品約40点

【会期】

2020年6月27日(土)～8月23日(日)
午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

【休館日】

毎週月曜日(ただし8月10日は開館)

【観覧料】

一般830円(660円)、大高生410円(320円)
※()内は20名以上の団体割引料金
※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

【協力】

rin art association

【同時開催】

catch the eyes 一目から心へー
※会期を延長しました。

【問い合わせ】

群馬県立近代美術館
〒370-1293 高崎市綿貫町992-1
(群馬の森公園内)

TEL. 027-346-5556 / 5560

FAX. 027-346-4064

※関連イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当面の間開催を見合わせます。最新情報は当館ホームページでご確認ください。